

NPO 法人岡崎がくどうの会

放課後児童支援員都道府県認定資格研修レポート

科目①『放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容』 科目②『放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護』
科目③『子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ』 科目④『子どもの発達理解』
科目⑤『児童期（6歳～12歳）の生活と発達』 科目⑥『障害のある子どもの理解』
科目⑦『特に配慮を必要とする子どもの理解』 科目⑧『放課後児童クラブに通う子どもの育成支援』
科目⑨『子どもの遊びの理解と支援』 科目⑩『障害のある子どもの育成支援』
科目⑪『保護者との連携・協力と相談支援』 科目⑫『学校・地域との連携』
科目⑬『子どもの生活面における対応』 科目⑭『安全対策・緊急時対応』
科目⑮『放課後児童支援員の仕事内容』 科目⑯『放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守』

【クラブ】（つくしクラブ）

【名前】（齊藤 里紗）

全 16 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

今までは指導員の視点を重点的に研修で学ばせていただきましたが、今回の認定資格研修では子供側の視点だとどう見えて、どう感じているのかをより深く知ることが出来た良い機会になりました。

私は、相手の気持ちを理解したかのような発言をしてしまうことがあるので、指導員側の捉え方と子供側の捉え方の両方を理解してどのような支援をしてほしいのかを正しく読み取って対応していきたいと思いました。

異年齢の集団の中でみんなでおやつを食べたり、遊びや学習をしたりするのは、一人一人発達段階が違っても、失敗や過ちを繰り返しながら成長していける所が学童保育で最も魅力があると思いました。

学童に帰ってくる子供に安心して帰ってもいいんだよという場所を作っていく為に指導員のチームワークの団結力の必要性を改めて感じました。

今回の 4 日間の受講でとても良い学びになりました。ありがとうございました。